

シニア犬特別利用承諾書

《はじめに》

ご愛犬の年齢が 8 歳以上の場合、獣医学的にシニア犬とみなされます。様々な器官の機能低下や基礎疾患の発生リスクが懸念されるため、もし不安がある場合はトリマーにあらかじめご相談ください。トリミングの施術に従事するにあたり、最大限の注意を払い努力をし、大切なわんちゃんをお預かりさせていただきますが、そのリスク全てを予見しコントロールすることは不可能です。本契約書はシニア犬における獣医学的なストレス耐性の低下やその他特性を踏まえた上で、トリミングの施術に伴う危険性をご家族様に認識いただくことを目的としています。

当日のトリミング前に、体調不良・持病の悪化・行動の変化があれば必ず申告をお願いしております。ストレスによる心臓への負担、関節への負担、胃腸への負担など様々なリスクを最小限に抑えるため時間短縮を第一優先としております。下記の内容を承諾ください。

《お預かり中の体調/怪我について》

当日の店内の環境がシニアのわんちゃんにとってストレスのかかる状態になり、適切でないと判断した場合はお断り・途中中断することがございますのでご了承ください。

当店ではシニアのわんちゃんの体調や容態によってはお客様同伴の施術、数日に分けての施術をご提案する場合がございます。合わせて安全性を第一とし、かかりつけ医の診察日、診察時間とトリミング施術の時間が重なるようお願いいたします。

施術中に万が一、体調不良又は皮膚の状態による怪我や事故などが発生した場合は当方の判断により動物病院での診療・処置をおこなう場合がございます。この場合に関しての応急処置料金・動物病院での処置代金は、お客様のご負担となります。診療費・治療費・通院費・慰謝料・賠償金につきましても一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

《万が一のお預かり中の死亡について》

シニアは身体機能や免疫機能、体力の低下が危惧されます。施術により著しく体力を消耗する場合もあり、また血行が促進されることで血管が膨張し心臓麻痺、心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし死亡の原因となる場合がございます。お預かり中の死亡もある事を、予めご理解・ご了承ください。

《料金について》

ペットの体調や状況により別途料金(保定代など)をご請求させていただく場合がございます。その場合は事前にご報告又は連絡させていただきます。(場合により事後に報告させていただく場合もございます。)

《混合ワクチン・狂犬病ワクチン接種について》

高齢や容態により対応できない場合は、かかりつけの動物病院に飼い主様ご自身で確認をお願いします。その際は当店に猶予証明書のご提示をお願いしております。